

作物の種類		えん麦		464		1次必須項目									
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	稈長	10個体、2反復	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										穂揃期における地際より穂首までの長さ	
2	穂長	10個体、2反復	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										穂首から穂の先端（芒を除く）までの長さ	
3	穂数	10個体、2反復	測定	本／個体（小数第2位を四捨五入）										穂揃期における一個体当たりの穂の数	
4	ふの色	2区	観察		淡黄	黄 ～淡 黄	黄	灰 ～黄	灰	灰 ～褐	褐	褐 ～黒	黒	成熟期の「ふ」の色	
5	1000粒重	100粒、3反復	測定	g（小数第2位を四捨五入）										原麦1000粒の重量、100粒を3反復計測	
6	出穂期	2区	観察	年月日										有効茎数の50%が出穂した日	
7	葉身長	10個体、2反復	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										止葉の下、第1葉の葉身の長さ	
8	葉身幅	10個体、2反復	測定	mm（小数第2位を四捨五入）										止葉の下、第1葉の葉身の幅	
9	草型	2区	観察		極直 立	より 直立	直立	やや 直立	中	やや ほふ く	ほふ く	より ほふ く	極ほ ふく	株の外周部にある主要な茎が地表と作る角度の大小	
10	稈節間の毛の有無と多少	2区	観察	無	極少	より 少	少	やや 少	中	やや 多	多	より 多	極多	開花始期の主稈の最上位節間の毛の有無と多少	
11	皮裸性	2区	観察		皮								裸	穀粒の「ふ」の有無	

作物の種類		えん麦		464		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	茎の太さ	10個体、2反復	測定	mm (小数第2位を四捨五入)										出穂期における地際から10~15cm上部の主稈の節間中央部の長径	
2	成熟期	2区	観察	年月日										全穂数の80%程度の穂首部が黄化し、粒はほぼろう状の硬さに達した日	
3	初期草丈	10個体、2反復	測定	cm (小数第1位を四捨五入)										越冬前における地際より葉先までの長さ	
4	春期草丈	10個体、2反復	測定	cm (小数第1位を四捨五入)										早春における地際より葉先までの長さ	
5	茎数	2区	観察・測定		極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	出穂期における茎数を計測または観察する (本/m ²)	
6	稈の剛柔	2区	観察		極柔	より柔	柔	やや柔	中	やや剛	剛	より剛	極剛	成熟期の稈の剛さ、手の感触による	
7	葉色	2区	観察		極淡	より淡	淡	やや淡	中	やや濃	濃	より濃	極濃	分けつ盛期における葉身の緑度	
8	葉鞘のワックスの多少	2区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	出穂期における上位第1葉鞘のろう質の多少	
9	葉鞘の毛の有無と多少	2区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	葉鞘に着生する毛の有無と多少	
10	穂型	2区	観察		片穂				中				散穂	穂の型	
11	小穂数	10個体、2反復	測定		極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	穂揃期における1穂当たり小穂数	
12	粒着の疎密	2区	観察		極疎	より疎	疎	やや疎	中	やや密	密	より密	極密	小穂の着生密度	
13	芒の有無と多少	2区	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多	より多	極多	芒の有無と多少	
14	芒長	2区	観察		極短	より短	短	やや短	中	やや長	長	より長	極長	穂の上位に着生する穎花の芒の長さ	
15	粒の形	2区	観察		極細	より細	細	やや細	中	やや太	太	より太	極太	原麦粒の長さの幅に対する程度	

作物の種類		えん麦		464		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
16	1リットル重	3反復	測定	g (小数第1位を四捨五入)										精原麦1リットルの重量	
17	粒基部の毛の長短	2区	観察		極短	より短	短	やや短	中	やや長	長	より長	極長	主稈の穂の先端に着生する小穂の粒基部の毛の長短	
18	脱粒性	2区	観察		極易	より易	易	やや易	中	やや難	難	より難	極難	成熟期の脱粒の難易	

作物の種類		えん麦		464	2次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	冠さび病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	人工接種または晩播条件における罹病程度の調査
2	耐倒伏性	10個体、2反復	観察・測定		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	機器による稈強度の調査または多収密植条件における倒伏程度の調査

作物の種類		えん麦		464		2次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	かさ枯病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	罹病の明らかな時期に観察、評点
2	葉枯病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	罹病の明らかな時期に観察、評点
3	赤かび病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	罹病の明らかな時期に観察、評点
4	黒さび病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	罹病の明らかな時期に観察、評点
5	褐黒穂病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	罹病の明らかな時期に観察、評点
6	紅色雪腐病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	罹病の明らかな時期に観察、評点
7	褐色雪腐病抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	罹病の明らかな時期に観察、評点
8	アブラムシ抵抗性	10個体、2反復	観察		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	虫害の明らかな時期に観察、評点
9	穂発芽性	10個体、2反復	観察・測定		極易	より易	易	やや易	中	やや難	難	より難	極難	成熟期の穂について穂発芽粒の割合を調査
10	耐寒性	10個体、2反復	観察・測定		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	越冬株率または被害程度を越冬直後又は越冬中に調査
11	耐雪性	10個体、2反復	観察・測定		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	越冬株率または被害程度を越冬直後に調査
12	耐湿性	10個体、2反復	観察・測定		極弱	より弱	弱	やや弱	中	やや強	強	より強	極強	耐湿性検定装置または圃場における過湿条件に対する影響の調査
13	春播性	10個体、2反復	観察		極低	より低	低	やや低	中	やや高	高	より高	極高	早春から一定間隔で播種し、出穂程度の観察による評点
14	再生性	10個体、2反復	観察		極不良	より不良	不良	やや不良	中	やや良	良	より良	極良	1番草刈取後、2週間目の再生程度の観察、評点

作物の種類		えん麦		464	3次必須項目									
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	生草収量（1番草）	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）										1区2㎡以上の生体茎葉（穂を含む）を秤量。ホールクroppサイレージ用は糊熟期収穫
2	乾物率（1番草）	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										サンプル約1kgを70℃48時間以上、恒量になるまで通風乾燥する

作物の種類		えん麦		464		3次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	生草収量（再生草）	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）										再生草（2番草以後の合計）について、1番草と同様にして測定	
2	乾物率（再生草）	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										再生草（2番草以後の合計）について、1番草と同様にして測定	
3	年間生草収量	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）										1区2㎡を刈取り番草ごとの生草収量の年間合計値	
4	年間乾物収量	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）										（生草収量×乾物率）で算出した刈取り番草ごとの乾物収量の年間合計値	
5	子実収量	2区	測定	kg/a（小数第1位を四捨五入）										ホールクロップサイレージ用の場合のみ。糊熟期調査、1区2㎡以上の子実収量	
6	葉部比率	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										生草500g中の葉の割合	
7	ふ率	2区	測定	%（小数第2位を四捨五入）										原麦10g中の穀皮重割合	
8	脱芒性	2区	観察		極難	より難	難	やや難	中	やや易	易	より易	極易	成熟期の脱芒の難易、皮えん麦のみ	
9	脱ふ性	2区	観察		極難	より難	難	やや難	中	やや易	易	より易	極易	成熟期の脱ふの難易、裸えん麦のみ	
10	乾物消化率	2区 3反復	測定	%（小数第2位を四捨五入）										酵素法または近赤外分析法による(乾物中%)	
11	粗たん白質	2区 3反復	測定	%（小数第2位を四捨五入）										ケルダール法又は近赤外分析による(乾物中%)	
12	A D F	2区 3反復	測定	%（小数第2位を四捨五入）										酸性デタージェント-アセトン洗浄(乾物中%)	
13	N D F	2区 3反復	測定	%（小数第2位を四捨五入）										中性デタージェント-アセトン洗浄(乾物中%)	
14	A D L	2区 3反復	測定	%（小数第2位を四捨五入）										酸性デタージェントリグニンとして定量(乾物中%)	
15	N S C	2区 3反復	測定	%（小数第2位を四捨五入）										アルコールで抽出、フェノール硫酸法で定量(乾物中%)	